

いまの社会を、憲法通りにつくり変えよう

憲法改悪ストップ兵庫共同センター週刊ニュース

650-0012 神戸市中央区北長狭通5-2-10・兵高教組会館4F

電話：078-366-6855 FAX：078-366-6856

Eメール：kenpou-hgkyodo@s9.dion.ne.jp

HP：https://kenpou-hyougo.sakura.ne.jp/

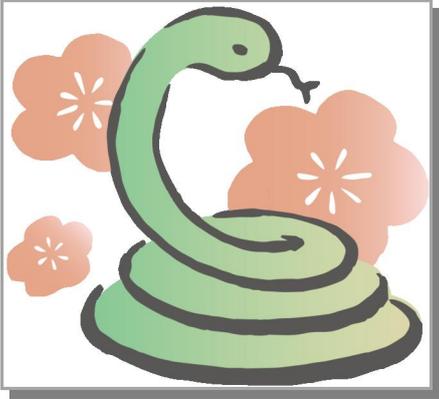
憲法と活かそう

No.988

2025年1月9日

戦火よびこむ「安保三文書」破棄せよ、戦争の覚悟でなく、平和の国づくりを

たたかい続けよう



自公暴走政治崩壊へ動き始めた2024年から2025年へ
巳年は成長と変化の象徴で、特に「転換の年」とされ“脱皮”は「再生と変革」への新しい姿を実現します。

あれから30年、日本列島地震活動期続く

元旦の神戸新聞は次のように伝えました。

「戦後の80年間に日本で起きた震度6弱以上の地震は71回あり、うち約9割が阪神・淡路大震災の発生した1995年以降に集中していることが、気象庁の観測データで分かった。阪神・淡路以降、列島は地震の活動期に入ったとする見方がある。データも大地震の頻度が高まっていることを示しており、専門家は南海トラフ巨大地震などへの警戒を呼びかける」と。能登地震以降日本海側の海底活断層調査も進み、7基の老朽原発が動く若狭湾の危険性はもっと指摘されねばなりません。

＜壊憲阻止・戦争法等廃止・野党共闘・原発・行動案内＞

※1/11(土)12:15「神戸大丸前」原発やめよイレブン

※1/12(日)09:40「西脇市役所西側」20才のつどい憲法宣伝

※1/14(火)12:15「三宮東遊園地入口」恒例憲法昼パレード

◆◆◆地域や団体の催し◆◆◆

★★★ 1月26日(日) 13時半～

ファシズムから考える

～兵庫県知事選挙を振り返って～

共催：兵庫革新懇・働く者のいのちと健康を守るセンター

場所：長田文化センター3階ホール

講演：田野大輔さん・甲南大学文学部教授

『デマ・陰謀論の危険性』

資料代：¥1000 学生半額

(連) 078-802-0130

★★★ 1月27日(月) 18時～

神戸市は市民のプライバシーを侵害するな

自衛隊への個人情報提供学習会

共催：私たちの個人情報をわたさない神戸市民の会

自由法曹団兵庫県支部

場所：神戸市立中央区文化センター1001・1002

講師：佐藤博文弁護士・北海道合同法律事務所

『納税者、労働者、消費者、自衛隊員と家族の人権のために』

資料代：¥1000

(連) 078-335-3770

2024.12.20 毎日

憲法審枝野会長始動

衆院初討議「緊急事態」焦点に

衆院憲法審査会は19日、今国会初の自由討議を実施し、各党が今後の議論の進め方を巡って意見を交わした。10月の衆院選で自民党や日本維新の会などの改憲勢力が発議に必要な3分の2を割り込み、憲法審査会長公明、維新、国民民主など

4党1会派が緊急事態での議員任期を延長する条項について条文化を提案。6月13日の審査会では4党1会派の合意の下、自民の中谷元・与党筆頭幹事(当時)が緊急事態の範囲や任期延長の手續きなどをまとめた論点整理を提示したがその後、進展はなかった。この日の審査会では、引き続き議員任期延長を優先して議論すべきかで各党の

意見が割れた。自民の船田元・与党筆頭幹事は論点整理に触れ「これを発射台として、優先的に議論を進めていくべきだ」と主張。維新の馬場伸幸前代表も「議員の任期延長などを規定する緊急事態条項創設の論点は出尽くしている」と訴えた。一方、立憲の山花郁夫氏は、避難所などでも投票を可能とする方法や、インターネット投票などの仕組み

を検討することを優先すべきだと主張。共産党の赤嶺政賢氏は「今、国民の多数が改憲を求めている中で、憲法審査会は動かすべきではない」と強調した。審査会では、船田氏を会長代理に指名。枝野氏は終了後、記者団に「今後の進め方について、船田氏や幹事会などと年明けに速やかに整理していきたい」と述べた。【池田直、小田中大】